

研修名 保育内容研修6(子ども理解)

平成28年 8月 2日 13:30~16:00

講演 「子どもの気づきと探究心を育む保育」

講師 大阪総合保育大学 瀧川 光治 氏



- 1 子どもの写真にふきだしをつける。子どもの思いや気持ち、やっていることを実況中継することで、子どもの心を理解しよう。

ワーク1 写真から「子どもの思いや気づき」を読み取ろう。  
4枚の写真をみながら、「タイトル」をつけ話し合う。

ワーク2 事例から考えてみよう(1)  
事例①~③の写真をみながら、子どもが何を気づき、その「気づき」がどのような広がりを見せていったのか、保育者がその「気づき」をどのようにしているのかを話し合う。

ワーク3 事例から考えてみよう(2)  
事例④~⑤の写真をみながら、感じたことを話し合うなかで、素朴な「気づき」から、くり返し、試すことで、新しい「気づき」があり、それが「学び」へと結びついていく。その過程について学ぶ。

ワーク4 事例から考えてみよう(3)  
事例⑥をもとに、「思考力のめばえ」をいかに育んでいくか。そのための保育者の役割について話し合う。

## 2 感想

ワークを通して、子どもの素朴な「気づき」が「好奇心」「思考」「学び」へと結びついていくためには、保育者の関わり方も大切だと思いました。「子どもを誘導して、結果に導こうとしていることはありませんか」と言われた講師の先生の言葉が印象的で、自分の保育を振り返る機会になりました。

子どもが主体となって、好奇心や探究心をもち、行動に移せるよう、新たな好奇心へと学びのサイクルがつながるよう、子どもの表情やつぶやきを大切に、子どもたちが充実感や満足感を味わえる保育ができるよう頑張っていきたいと思います。

( 記録 和東保育園 大西 春美 )